

## 江差町立南が丘小学校



## かけはし



【本年度の重点教育目標】

『学習したことをもとに考え、自ら実行できる子どもの育成』

〔笑顔・信頼〕〔学び合い・高め合い〕〔習慣・継続〕

TEL0139-52-0524 FAX0139-52-5489

## 災害から身を守る

南が丘小学校長 安田 善紀

9月2日に地震を想定した全国一斉安全確保行動(シェイクアウト)を実施しました。シェイクアウトは、2008年にアメリカ合衆国カリフォルニア州で生まれた一斉安全確保行動です。日本では各自治体を中心になって推進しており、学校で取り組んでいる所も多いです。南が丘小学校でも、校内放送で安全確保指示の後、子ども達が机の下に低い姿勢で頭を守りつつ、1分間動かずに『安全行動の123』を実践しています。地震発生後に落ち着いて行動できるよう何度も訓練を行い、身につくようにしています。

地震の次に想定されるのが、津波からどのようにして身を守ることを考えます。7月に行った避難訓練では、地震発生直後はシェイクアウトのように机の下などに隠れて、揺れが収まるまで動かず、その後に屋外へ避難します。

避難後に私から子どもたちに、次のようにお話しました。

「多くの津波は2m以下ですが、陸地を駆け上がる高さ(遡上高)は2~4倍と言われるので最大8mほどです。ですから、高さ10mを確保すると、大半の津波から命を守れることとなります。しかし、確実に命を守るためには10mの高さでは心許ないです。檜山地域の過去の津波高として、北海道南西沖地震では奥尻島で最大36m、江戸時代の寛保津波(1741年)では渡島大島の噴火による山体崩壊(他の説もある)により上ノ国町では30m、乙部町でも15mの津波があったそうです(南が丘小学校は海拔27.5mあります)。このように自分たちの住んでいる地域でも、いつ大地震や大きな津波がやってくるかわかりません。私がリアルタイムで経験した、道南地域の人命が失われたり家屋倒壊などの被害を出した大きな地震は5回あります。つまり10年に一度は大きな地震と出会っています。決して他人事ではありません。一次避難所までの避難ではなく、大きな津波がやってきそうであれば、更に高い場所へ避難する心構えが大切です。東日本大震災では、そのことで命が助かった人もいます。命を守るために必要なことは最大の被害を想定して準備し、実行することです。」

いつ何時災害に遭っても、災害から身を守る知識と訓練が重要です。

## 安全行動の



# 貴重な体験できました

5年生は、9月5・6日の2日間、宿泊研修へ行ってきました。函館市の元町地区、NHK放送局などを訪れ、森町では、ネイパル森に宿泊し、大沼でカヌーに乗船し、楽しい体験を仲間と共有できました。集団行動や公共マナーなど、自分たちで責任をもって行動することも宿泊研修の大切な学びです。多くの経験ができ、有意義な宿泊研修となりました。



全員でカヌーをこぎました。腕がとても疲れたそうです。



## 【引率の大村教諭のお話】

宿泊研修では、たくさんの楽しい出来事がありました。特にモルック体験では、みんなが大盛り上がり。「またやりたい!」という声がたくさん聞かれました。自主研修では、班ごとに地図を見ながら目的地を目指し、途中で迷いながらも協力して進みました。食事の時には、「みんなと食べるごはんはおいしい!苦手なものも食べられた!」と嬉しそうに話す子どもたちも。また、「お家の人に教えてまた行きたい!」と言っている子も多く、心に残る研修となりました。



暑い間いで盛り上がったモルック。



元町地区で自主研修。自分たちで計画した順路を、自分たちで歩きました。

## 迫力いっぱい! ~写生会~



1年生にとっては初めての写生会です。道路工事等で活躍する3台の「働く自動車」を描きました。大きなタイヤのホイールローダ、変わった形のモータグレーダー、アスファルトフィニッシャーです。(株)道南土木のみなさんが、1年生のために学校まで車両を運んでくださいました。ご協力感謝いたします。1年生は、実物を間近で見て迫力を感じながら、大きくのびのびと描いていました。

## 南が丘小学校学習発表会

10月19日(土)に開催いたします。子どもたちは今、劇、歌、器楽、ダンスなど、一生懸命練習中です。一般のお客様も、子どもたちのがんばる姿をご覧にぜひお越しください。9時開演です。

## 南が丘小学校PTA研修会

11月15日(金)18時から、南が丘小学校体育館でモルックの体験会を予定しています。対象は、保護者・職員です。最近流行のモルックを楽しみながら経験しましょう。ふるってご参加ください。